



























SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	就業規則の「コンプライアンス行動規範」内に人権尊重・差別禁止の条項を設け周知徹底するとともに社員全員から誓約書を提出してもらっている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントに関するガイドラインを設け、社内周知徹底するとともに相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	改正労働基準法の遵守に向けた管理、取組みを実践している									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	協力業者所属の外国人労働者の差別禁止、人権尊重をすべくコンプライアンス行動規範内に規程されている				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	作業所の安全パトロールを定期的の実施するとともに、毎月1回安全衛生委員会活動を開催し、各種情報を発信、労働者の意見の吸い上げを行っている							3		8								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェック制度規程を設け、毎年全ての社員にストレスチェックを行い、結果については、産業医の面談制度を設けている							3										
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	ストレスチェックを全社員を対象に実施し、その結果をもって産業医との面談を実施してもらう また本人の希望がある場合は、相談窓口を設置し、相談を実施している					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	各部署において「教育・訓練年間計画書」を作成し、必要な能力開発・教育訓練を実施している また本人の希望がある場合は、可能な限り受講してもらっている				4	5.5				8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	就業規則に則り、同一労働同一賃金を遵守している また人事評価制度を導入し、評価に基づく適正な報酬を支給している					5.5				8.5	10.2 10.3							
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	「健康経営優良法人（経済産業省）」の認定を取得済み 「健康づくりチャレンジ宣言書」を作成して周知している							3		8								
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	コンプライアンス教育を徹底し、法律に基づく適正な運用を行っている また電子マニフェストを運用し、処理状況を随時監視している										11.6	12.4		14.1				
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エネルギーの使用量を集計し、状況を把握するとともに、ISO14001の環境目標に掲げ、削減に向けた取組みを実施している								7.3					13				
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	エネルギーの使用量に基づき、温室効果ガスの排出量を把握し、ISO14001の環境目標に掲げ、削減に向けた取組みを実施している									7.2 7.3			12.4	13.3				
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	作業所開設時に、設計図書で把握するとともに、改修や解体工事の場合は、現地調査を行い、有害化学物質等の有無を確認し、ある場合は法律に基づき適正に対応している				3.9			6.3				11.6	12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	工事着手前に現地調査を行い、生態系への影響の有無を確認している 材料等も確認を行い、該当する場合は発注者や設計事務所と協議を行っている							6.6							15			
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	長野県産業廃棄物3R実践協定を締結し、3Rの推進を行っている 作業所ではリサイクル可能にするために分別の徹底を行うとともに、リサイクル施設へ処分の依頼を行っている												12.5		14.1			
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	今後利用状況を把握し、節水の取組みを検討する									6.4 6.6								

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																													
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	必要な場合は地元説明会を開催し、対話を通して適切に対応を行っている また普段から利害関係者からの意見を受けられるようにしており、受けた場合は適切に対応している					4								9		11	12			14	15			17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	長野県森林の里親事業に10年前から参画し、山形村の森林整備事業活動に取り組んでいる 他にも献血の実施、毎週月曜日に近隣の清掃活動を実施している					4											11					14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している	チャレンジ	長野県産の木材の積極利用を促進している															8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念、経営姿勢、社員行動指針を明文化したマインドブックを作成し、全社員に配布するとともに、社内会議等で唱和等を行っている														8	9									17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	「コンプライアンス行動規範」を明文化したマインドブックを作成し、全社員に配布し、理解をさせている																								16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	コンプライアンス、ISOを担当する役員、専任者がいる																								16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーからの意見を受けられるよう、会社HP上に問い合わせ窓口を設けている 寄せられた意見等は情報を共有し、速やかに必要な対応を行っている																								16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISOマネジメントシステム上で、毎年期首に想定されるリスク及び機会を特定、評価し、必要な項目は、マネジメントシステムの活動に反映させている																								16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	自社HPにてCSR活動を宣言し公表している																								16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCP事業計画を2017年に作成し運用している 事業計画については、随時見直しを行っていく また事業計画に基づく安否確認や緊急時の訓練等も行っている																	9		11		13	13.1		16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	2020年6月に事業承継を行っており、当面は事業承継の予定は無いものの、必要な対策等は常に準備していく																8	9							17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）